第一条	内) 最終改正:令和四年六月十七日法律第六十八号) 平成二年六月二十二日法律第四十四号) 民農園整備促進法	法 律	
	(最終改正:令和三年七月十四日政令第二百五号)(平成二年九月十四日政令第二百七十二号)	政令	
	〇市民農園整備促進法施行規則 (平成二年九月十四日農林水産省・国土 (平成二年九月十四日農林水産省・建設省令第一号)	省令	

3 2 6 5 3 き 振 \mathcal{O} め市 。た都は都調基興基 と道、道和本に本 る民基す よ農本る市る市 き府基府が方資方 は県本県保針す針 努の針項農項農 `知方知たはるは め整に 遠 園 , ŗ 遅事針事れ る備お \mathcal{O} 施 滞はをはた都う良 な、変、も市に好 ものい 利 設 用 の基て \mathcal{O} 基更情の計定な と本は 設 条 とする。 本的な方向その他は、前項各号に掲げ 件そ 本す勢で画め都 置 こ方るのな及る市 そ れ針こ推けびも環 \mathcal{O} \mathcal{O} 他の ををと移れ農の境 他 公定がにば業での \mathcal{O} 表めでよな振な形し、きりら興け成 市 市 。)として指定する こして整備すべきに において同じ。) 一項 の規定による 一項 の規定による 一項 の規定による で次に関 しんだげる 民 民 な又る必な地れ及けは。要い域ばび 必る 八農園 農 シ要がです。 定によ きは、遅滞ならない。 遠 ば二はとてもの。 利項家しのれみ存用に畜で問るて、 用にの耕辺こった。 がなった。 な事項の 域おそ市 園推 用民 れこ が 。整な農 の 0 内いの民 運 整 者の 生 備ら村 区移 ばれ 項は、 にて指農 お、定園 る 域に が利 なを じ 計な地 営 備 滞いい、 確い放作のと市、 保て牧若地。民か くを定い、 ら変 たと に関 市 画い域 をよ 相用 に すさ よへにの る区内る昭掲決 °Ø けそし区 変り 関 当上 民 な更 کے

読に項百第百条一良年六 替おの二百九か項法法条 術場第に項、百(地十的合一第、第二第改四

る地と域用び ばべの永よろる にはのし市当以みるものも内とそ交なて他小りにと市関、利て民該外て土の集にに農の換らのの作交よき町し当用当農市の当地で団、大業国公公司に接続機のはせるなど、

十十項三第 でら三百条六第 ら三点系列 第条二第項九 二第条二、十 三一ま項九 項項でか十 まか及ら九 でらび第条 四項項第 条まか百第一第 第第五第 用 項 地 第市 土 地 民 項農 園 整 備 促 進 法第 五. 条

する土

地改

良

法

第

百

一条 す

土十律和民令え令

地七第五事・てん

と号百十訴国準以

九四訟土用下

字でお六一読 句同い条条替 可と読み替える 市民農園 特別定により るものなるものなるものという。 とものには進法 がは、それ は、それ は、それ は、それ は、それ れ同定 で法を準になる。 同規用と 表定するこという . う。) 下の場 欄字合 の句に第

公告は、都道府は が並びに縦覧の お出地改む は、同項の は、同項の 県良す期の地の法る間規改 。及定良 公第 報九 びに法 場よ第 に十 よ九 所り九 り条 を縦十

行第

都覧九

特にし 必て 要の と利

(交換分合計画の決定手続)

第一条 市民農園整備促進法(以下「法」とい五条条 市民農園整備促進法(以下「法」とい五条第二項の規定による認可を受けようと、法第二項に掲げる書面のほか、次に掲げる書類、なければならない。

一 法第二項の規定による認可を受けようと、第三項に掲げる書面のほか、次に掲げる書類、なければならない。

一 法第二項を含む。)の同意があったことを証明を含含む。)の同意があったことを証明を含むいて準用する土地改良法第百四条第二項及び第百七条において準用する書面を含む。)の同意があったことを証する書面を含む。)の同意があったことを証する書面を合む。)の同意があったことを証する書面を合む。)の同意があったことを証する書面を合む。)の同意があったことを証する書面をの事間図の事出又は同意があったことを証する書面をので表しまで、表において準用する世間である。 類第とよう。 · が十る。) 付九と。 し条。

百第第八五一第第 二一百条条条項百十 項二第、十十 三及十一項百十 長び二項百百 条第条、十十第、	第百十三条		項第 百六条 第二	第百五条	項百四第項第 十項正項項項 八第項 第百 条第に第 第 第第 第	九条 七条及び第百 第一項、第百
良土 事地 業改	命にの又 令基法は く律こ	含む°)	る消 滅 す	項条第 第百 一二	産農 省林 令水	
る交換分合 によ によ	る法律第十三条の三第一項農業振興地域の整備に関す法第六条において準用する命令又は市民農園整備促進命令とはこの法律に基づく	三項三項とは市三条の三第関する法律第十三条の三第関する法律第十三条の三第に進法第六条において準用に進法第六条において準用のでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	滅権が が表示を がいて がいて を定めなないで を主土地の がの所有者が の所有者が の所有者が の所有者が の所有者が のでき土地域の を定めないで を主土地の には のができ土地の のができ土地の のができ土地の のができ土地の のができ土地の のができ土地の のができ土地の のができ土地の には には には には には には には には には には	の三第一項前段で準用する農業振興地域の園整備促進法第六条におい園整備促進法第六条におい	骨株水産省令・国土交通省	

2 第(½ び条七測に でターなi 2 すた途 な日条六書しにはす 三で べ当及 一出出に五取るの項 のの五三 閲公日項法期第条量お前い間の条類た係同る法そに用質 。規及法て該び 書を関条得 送規 の書る項法第のお及権当地当申をしす す付定法送面土後律六権いび、該積該出市よる法べ 。送規 定び第の所地 覧告間の第日一 又い項 にの前規六を項法はての に第六土有積 供内項定条示の第検縦書 す容ににし規六査覧類 申者町う法第き出の村と律六土 よ百条地者並 る七にのがび るに掲よおて定条のには、 に氏長す第条地 総条お等取に 方つげるいしにおい 法いる公ではおいなよい をで事告準けるいな告 係名にる十にをる又提者三お定 合にい位得同的おでにすべい のはい公れ地よ三準 者と用土 土は出は条いめ 併イ項は用れ通て せンを、すば知準 要、て告ば番る第用旨市準)な、同一す けを のす貸地 `のてな 勘て用いき掲 地名し の称な次三準い所及けに第用場 氏る借に 案準すてすげ れし てタ掲市るなは用 ばた を町用 ら地意項る 名権につ に用るしべる はす土なて事 な目を前農い、求段業 在びれ掲一す合 、住ばげ項るの 行丨示町土ら な日 掲村す 又利よい わネし村地な立る い、求段業。用めの振 はをるて らか 示のる なッての改い入土 前同改れ土に なら し事土 名有権地 地所なる前農申 途る規興及に定地 て務地 ら事段業出 111 称す利上 番、 項法良ば地基 。 日 れをる務法 の第法な及づ の改 し所改 及る又権 な項の振又 び地積には、よる性は、なを整理している。 び者は ば利と所第 目良 間 なの良 いを規興は 規百第らびい 的、第 。記定地同 定二百な失て を条四いう 準第条。べ定 な用との百 当 け掲法 住がそ永 貝 該 らしも掲十 れ示第 所あの小 載に域意 なない。場外に示り、場外に対している。 場百 を該同備 しよの整 準第条 用二第 事 ば場百 並る他作 用 は刎しなに十 び場の権 きし 所十 務 記同意に 途 。衆そに第 及八 所 ら五 載意又関 に合使 及 申申備 す項]

得第 すニ ベ項 きの す規 べ定 てに のよ 土る 地総 及合 び的 失な 八うが案 きは、 す べ当 て該 の所 土有 地者 のが 用取

を提こすで開で項四七市 受出れる定設政に条条民 受けることができる。
要は、農園の開設の認定)
と、当該市民農園の開設があるところにより、市民農園の所在地ので定めるところにより、市民農園で規定する市街地開発事業の施条第六項に規定する市街地開発事業の施条ができる。 設在画農水 政仕画農水 の画街 が地」園産内施施化 が適当である旨の認定地を管轄する市町村に別している。) を定め、施行区域その他の区域、同人という。) を定め、施行区域その他の区域、同条第七の地の区域(都市計画法第

> (工集 土地改良法施行令の準用) (工条 土地改良法施行令(昭和 一年) (昭和二十六年法律第二 中の規定による裁決を申請 による表表の五の規定 による裁決を申請 るる七い第収すい用十 国土交通省令」と読み替え東京には法第六条において準には法第六条において準用を第二項の規定により土地を開発を開出では法第六条において準用を開発を開出では法第六条において準用を開発を開出である。

項

第 (三外市 る条さ街

3

を意た当地申添見だ該が請

付をし土土書す得、地地を

れら意改改提

ばれ見良良出

よなを区区す

いい求ののる

。場め意地場

合た見区合

に日書内に

つ

しょ

は、

 σ

概

要

す得

の十しとて、 三 二一な れ表は個九年 事日なき、第を 及 け前ば者、人条民 由をけはそ一表建び市市れ項なの名に 農 を経れ、の項示築種民民ばのら氏称あ法園 記過ば当世のし物別農農の た務名項定申所、の申 申所 次

清の住認請 書所所定手 0 各号に を在及を続 市地び受 町、職け 掲 村業業よう げ る

農平び表 園面に示 施図市し 民た 農地 園形 施図 設 \mathcal{O} にの法と 提内人す 位 面 置 を し及あるは、 添 形 付 け代て 状

令改八損 で良条失 定法補償 る特別の表表 は七の申、十規請 別記様式に帰る場合の場合である。 と林読式 を著えて • 準 国用 |土交通 省地

水七と条す良は令七土 産条あのる法、第条形 水産大臣及び国土交通大臣」と読れて、今第二条の三第一号中「農林水産大臣及び国土交通大臣」と語りる。この場合において、土地とあるのは「農林水産省令・国とあるのは「農林水産省令の工から第十七条の四までの場合において、土地とあるのは「農林水産省令の異によ施行令第七十五号)第十七条から第十七条の二 土地改良法施行規則の準用)工地改良法施行規則の準用)

. 四 三 二 第開るには 第項者 除施告おい市は 施市第

3 ・設 て、市 ·な け前 八七六五四 の金民用用整民別条民民ばの 他計農期者備農 第農農な整 委請 農画園間のに園 二園園ら備 のそ募関施 項ののな運 員が第 計 林 第用用い営一にに。計 適の集るのというである。 画 会次-水 のに項 産 \mathcal{O} 号供供 内 決掲の 省 画 . 容が にする。 定げ認 令 利条選項置 に をる定 用件考 及 は、 玉 基 び げ農土 経要の を \mathcal{O} 本方 で件申、に請 1土交通 次に 確 方 規 る地地 保す 農のの 法 模 針 そ該が そ 地位所 掲 んため げる事 の当あ 省令で定める事 σ の置在 認すっ 適 他 い及 合す 記定るた をと場 ずび地 \mathcal{O} 0 市 れ面番 項 るも を記 す認合 方 民 に積及 るめに 農 属並び もるおのとい 園 \mathcal{O} すび面 載 項 で るに積 施 L

> 都市第 市計一 計画項 画にの 施係規 設る程 一同に 公法よ 園第り 及三施 び十行 緑一予 地条定 を第者 除二が く項定 の規ら の区域に 域 るい 防る 災都

通十整 ホーニハーロ イる所(る外 ロ イ掲 省条備 そ約得 家 の 利る 場有農たの市す称し す げ法市令 運 ののす所畜転転種申用と地合権地めも民る及な所る所る第民で法営 他参考となるべき事項

したするためこれらのとする上地について取のとする上地の所有者のとする上地の概要

のとするには、当該ななを目的とする上地の表別による上地の表別による上地の表別による上地の表別による上地の表別による上述を目的とするとなるでき事項 他内る有等用用類請状き目に又を若の農権びい有場有事七農定第計 にもけるの牧以 (払うべ とする す よす \mathcal{O} 取のす 地 うる権 目事利地以の地 得氏る る権 に 土 る で しようと 権利を有 と項をに外もを 係 地 る 地 き給 利を いる次に す利 が 取つのの農 玉 作 1目)、 るを 得いもに地 土

すてのす以

契取

付

有

交

と設ら 。 。 がみ市 適て民農 な市園 位民の その認定につい 東四項の規定は市町村の認定に係る敷設定に係る敷 。 は認すて都に貸開一第例にい定 、定。準市関付設号一)よとに 況は、こ 置農適 善措置をとるべい。 遠の整備又は運 変のを備又は運 を後のもの。以 五項の規定に上 め項の 定適及らめ切び第 及るに能みに に園正 るきよ 用農すけ者イ項 びおおにて供選そけ支、す つ認 あのか が 地る又は、 と で と に 又 は 、 掲 は 、 掲 は 地画 認はる い定 都規 るな適八 り用つ て開 定、勧 基も正号 法に 道定 考れる障周る 、に田 定整 ついて準用する。
に定を受けなければならないでを受けなければならないでを備運営計画を変更しよるを備運営計画を変更しよる。 場貸地特当げ第 を市告 報設 のが営を辺農 か供滑 第従 府に 準のかま った 合作法定該る五 をの等都認農項 告を求い でであっている。 つする利用 四つ 取町を 県よ 方な農生の地 法い条ず道及 条て り村受 知る 含円の市定地の がも件る路び公の及お、市 ことを制いている。 認定に係る。 認定に係る。 合するもでるものである。 第農 消はけった 妥農用 事認 水/めし、 一地 す の定 当地を , 第認と七定 平でびそ下民 項を る、 こ市 同を な及確 かあ生れ水農 の農 意し 規び保 尽を得ない 告のいという つる活が道園 と民 許地 の関関付たもよ が条開 \mathcal{O} を項 模市す が農 で 承すすけ市のる で第設 確が で民る 可以 り 別ないかない かんこと 定認い ちゅうこと 定認い うっこと ごいあっこ と 正と境くの設なの、公の が外 認るるに民で認 き一者 で園 あ 保市 あ農見 整 ない。 とい る項が 。 マ 3 ア 3 るこ る園地こ施か あの けす を法法つ農あ定 きの す民 な 整 受律律き園るが れる 確か共位 つも る農 ŧ

> 第 次四市 二 一次四市 てが号 す の条民 い所イ市る申と 農る有に民も請お法園 も権掲農ののり第の の以げ園で手とは、 三部 項定 第の 基るる 六基 運 号準 づ場農 営 い合地で 計 \mathcal{O} 政 画 令で定 耕あ法 \mathcal{O} 作のこれ 内 容 事は条業、第 が め 法会令 る基 だ当 供該項 に 準 さ農第 違 は れ地 反

玉 指及 導び そ地 の方 他公 の共 援団 助体 をは、 行 う認 よ定け 努設 め者 るに も対 のし い除第い市う三園築のる昭民 五収にて放主も と必 合す政園請つそ農に第の若第 の必行 適たる定

> に五都 兀 素 揭条市 管な簡農休げ 理も易作憩る法画 事の宿業施も第法 務を泊の設の十の所い施講でと二特 がう。 一条第一条の 一である。 一である。 一である。 である。 である。 である。 でする。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 でる であるない。一であるながある。 のと 建治す 政な 令できる。 のる 施 楽用建 設物 で に築 定築 あ 供物 め物 る さ る 建 れ 建 築物 る施 築 物 設 は 次

計

1 から[中略]施行する第十二章の改正規定中地方自治法(昭和治法(昭和法)の法律中、第一 刑を財使十報十円の十罰を罰産用八告七以規六則 施 一施 施 か第中治 施成な一施 行二い条行 単年 期 条行 行期日 期附 附 期 附 附 年範 期 九囲こ日 日 則 則 月内の政に法 則 則 抄 抄 抄 伞 伞 政令二七一号によりにおいて政令で定め 法律は、公布の日か 鞷 成 成 平 六年六月二九 人違が、は円とは行るとは行ると 年 Ł 月 年用 月二二 り、同なから起れ 以す 日法 下の土 六 日 日 日年九月二〇日 日から施行する 歴算して三月な 律第四 法 拘地 法 律 禁改 律第 第 刑良 6 本はののす又条、業代の行務理。 虚 よ準進整域に二お定措 り請促 又法は第 八 九 施 る用法備はお項に一名 開法備はお項では 協す」促、い同「る 養ると進第で同条旧改 を場い法二同条旧改 さは、法 (七号) 号 紀行す 六〇号 る。〔平れられる。〕 五百 た 新第 協市四 罰為又人、金者は、 十九万条 偽 \mathcal{O} 第(版) から施 から 施 り し の 期附 則 行政す令 るは、 法 \mathcal{O} 施 行 の 日 伞 成二年九 月二十 第 日 (施)条行 か 期**附** らこ日 施の 行すっ 抄 る。は、 法 の 施 行 \mathcal{O} 日 伞 -成二年九月二十

第 平成一九年一一日君えない範囲内にあっ、「後略」「平成界一条」この法律はのには、この法律は、「のが、」では、「のが、」では、「のが、」では、「のが、」では、「のが、」では、「から、「のが、」では、「から、 て九罰施成な一施 かだな一施 成一 は条則行一い条行、に一三範期 十条三 附 附 附 三年三月の法 年 な施関 月 則 お行る 則 則 すの内の $-\sigma$ 月法 する。「平成」の各号に掲げて内において政会 伞 伞 爭 六十日(政お律 前前経 月成には、 成 成 のに過 令いは 成 日から: 三一お、 〇八い公 九て 例し措 七政公 にた置 号令布にでの 施条 年 日年て布 年 よ行 年 6 る。 に 五月 発及び 六 五月三一 か一政の 年定定日 月 ら一令日 よ定日 る。第三 6り、 こから こから 一は、これからい 〔後略〕 施月でか 九 兀 行政定ら 略っる 月当百起 日 同日起 日 日 令め起 後条 三の質の 罰則 年五月にから施り 法律 政該か算 法 法 略を 令各らし 律 律 除 二号施て八に行六 第 第 九かて \mathcal{O} 第 ₹ 0° 号に施年 七三 適用 五. 匹 一行一 四定す月 1六号) 八す年 七 号によりる。超え そので、日からで、日からで、日からで、日からで、日からので、日からので、日からので、日からのでは 日からのでは、日からのでは 日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日かりには、日からのでは、日はりは、日からのでは、日からのでは、日からのでは、日はりは、日からのでは、日からのでは、日はりはのは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのではのでは、日はりのでは、日はりはのはのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのではのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はりのでは、日はのは 号 よ行六 は、 に りす月 つ 平 第(月成一施 か日を一施 から施行する。 日(平成十三年五月十を改正する法律(以下一条 この政令は、杯価行期日) い条則日の条行 十改 期 五正こ日 附 附 附 附 出法」といの政令は 号則 か法の 則 則 則 な政る一関政お令経五す令 抄 ら律政 至 伞 伞 伞 施第令 成 成一 らいは 従の過年るは 成 行八は 成 ら施行する。いう。)の施行、農地法等の す十 る。一人内。 ランス 十八日本 Ŧi. 年 年三月三〇 年 八日。以「改正法計画法 六月 にた 十の市 後のの 抄一 に行為にこれ 九一街 略施一 月 7行 0 以下「施行日」上法」という。)四法及び建築基準 日部地に 後の 月 t 行部 日 部を改正の日(平) か改お 七 対 日 のを 政 日 ら正け す 日 政 日改 令第三一 政 令 施する で正平す る 政 半成二十 令第 罰 令 行る防 第 則 す法災 第 進 九 成る との法 0 \mathcal{O} る律街 五. 八 二法 八 い施の 뭉 号 適 °の区 年律 う。 行一) の部 五. 一: 年 一平 用 施の 十以 行整 か年 ら法こ 施律の 行第省 附 す八令 7、十八号) 設則 省(平 第成 閣 の法 号) 施の 年 行一 の部 日を 0 改正 頁 0 成す 一十三法 H

農

林 水

産

年律

月平

六成 日十

施四政二 行十令に三へ 附同 附 関条の略則年 i し 委 必こ任 則 第一 一一 平 要の 十月 成 な附 条五 経則 で定める。保経過措置 過に の日 年 布 措定 規か 八 \mathcal{O} 置め 定ら る。置って (月三〇日 は、も 施 日 「 (罰 も カコ 公行 ら施 政の 布 則の 令の \mathcal{O} ついているこのにおいているにおいて にの 行 法 でほ 日 定か、 4 第一 関ほ す て掲 すか、 る。 \otimes 、この は、なりなおれば、ないは、なりなおは、ないなりなおがらればない。 る る。 る経こ \bigcirc

後

略

お施従一定

従行前のに

五.

法

律

 \mathcal{O}

附 則 爭 成 六 年 ·五月三 $\overline{\bigcirc}$ 日 法 律 第 匹 号

過の

措法

置律

:らしい条行 施 、範 期 にいは 掲て げ政公 う 令 有 の の 定定日 ためるにからい 当自起 三該各号に空間がら施行な 定す年 める。 を る 。 超 日たえ

かだな一施

二号) 附則第一治法の一部を計同項中「指定を開催促進法第一申核市同項中「指定を開催促進法第一申核市の計算を開始。 条正 市二るに にすと若条前伴 る(は)の定措施平一と規に置 肥平「と規に 行成中あ定よ 時二核るのる 特十市の適改

例六若は用正五市三

法く指つの五農

士

、五,

一略

略附

規宣

定条

平一

平成二十

七第

年五

应十

月四

一条

第

五.

日

則 の第

市年し「に後十民

第(第(第) 申庁の二経二一施 請の不条過十条行 に処服 措八 期 係分申行置年こ日 附 るそ立政の四の 行のでの則一令 りは、 から行 施政 行する る査 法 \mathcal{O} 施 行 \mathcal{O} 日 伞 成

庁のあ処 の行っ分

不為てそ

為はの他

にこ政の

係の令行

る政の為

も令施又

のの行は

に施前不

つ行に作い前さ為

てにれに

はさたつ 、れ行い

こた政て

則 堊 成 七 年 月 六 日 政 令第三 九 号

月の 一省 日令 附 (は、 か 省則 ら行 施政 行する る審査 法 \mathcal{O} 施 行 \mathcal{O} 日 伞 成 八 年

兀

令第一 四号) 年三 月 日 農 林 水 産 建

		○年一一月政令三一○号により、同	だし、次条の規定は、公布の日から施行する。〔後略〕 第一条 この法律は、公布の日から起算して六月を超え 第一条 この法律は、公布の日から起算して六月を超え (施行期日) 抄 り 叫 (平成三○年五月一八日法律第二三号)	施行]
令和三年七月一四日政令第二〇五号) 令和三年七月一四日政令第二〇五号)	附 則 (令和元年九月一一日政令第一〇二号) 「商略」、次条から附則第四条までの規定、改正法第一条 この政令は、農地中間管理事業の推進に関するただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定めるただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定めるの施行の日(令和元年十一月一日)から施行する。 「略」 「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対するが、農地中間管理事業の推進に関する。 「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「一、「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「一、「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「一、「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「一、「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「一、「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「一、「前略」、次条から附則第四条までの規定、改正法に対している。 「一、「略」、			による。
(施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (施行期日) (本行の際現にあるこの省令による改第二条 この省令の施行の際現にあるこの省令による改第二条 この省令による改正後の様式によるものとみなす。 さいては、当分の間、これを取り繕って使用することができる。	日)から施行する。	十二月十六日)から施行する。		

後法法日 略(書律)) 別(令和四年六月一七日法律第六八号)	
		の日(令和三年七月十五日)から施行する。 を改正する法律附則第一条第二号に掲げる規定の施行 この政令は、特定都市河川浸水被害対策法等の一部
	この省令は、令和六年四月一日から施行する。 通省令第三号)	和六年三